

信用格付を付与するために用いる方法の概要（事業会社）

事業会社格付は、債券発行体や個々の債券についての、事業リスクや財務リスクに関連する定性要因及び定量要因を反映している。

（重要な格付要素）

- 業種リスク特性
- カントリーリスク
- 経営戦略／コーポレート・ガバナンス
- グループ構成
- 事業特性
- 財務特性（キャッシュ・フローと収益性、資本構成、財務の柔軟性）

フィッチの分析には、通常、少なくとも最近3年間の事業実績・財務データと、フィッチによる将来の業績予想が用いられ、景気循環の典型的な一周期分がカバーされる。これらは、発行体の事業及び財務に関するリスク特性上の強みを、同業他社や同等格付カテゴリーの企業のものと比較して評価する比較分析に用いられる。

定性要因と定量要因に関する個別のウェイト付け及び全体的なウェイト付けは、業界内の企業ごとに異なるほか、その時々に応じて変化する。一般的な指針として、ある要因が他の要因に比べて著しく弱い場合、分析では最も弱い要因が比較的大きくウェイト付けされる傾向にある。

個々の債券の格付には、債務不履行時の支払の優先順位と回収想定に関する追加的な情報も織り込まれている。

本格付方法の詳細については、「Corporate Rating Criteria」（2021年10月15日付格付基準レポート）をご覧ください。このほかフィッチ・グローバル・サイトの [Criteria](#) ページに掲載されているレポートもあわせてご参照ください。